

からいけ
唐池環境整備組合



地域の貴重な水源である唐池（防災重点ため池）



ため池の草刈り状況

豊後高田市には、大雨や台風などの影響で、決壊時に民家や公共施設等に被害が及ぶ「防災重点ため池」が45カ所あるが、同市では、地域住民及びため池管理者の理解を得た上で、全ての防災重点ため池の管理者と、豪雨が予想される場合に市からの要請によりため池の事前放流を行う災害未然防止協定を結んでいる。

防災重点ため池の唐池がある本地域は、都市計画区域内であり、近年住宅の増加に伴う混住化が進行する一方、農地の減少、農家の高齢化に危機感を覚えた農家を中心となり、地域に移り住んできた非農家と一緒に「唐池環境整備組合」を設立した。令和2年度より活動を開始したところ、以前よりも多くの方がため池や水路の維持活動に参加するようになり、地域に活気が戻ってきている。



大分県豊後高田市



ため池の事前放流の状況

〔洪水防止〕

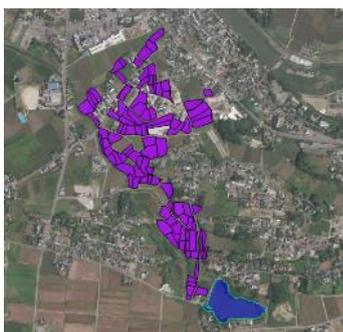
令和2年6月、市内の防災重点ため池の管理者、決壊時に被害が予想される自治会の自治委員約30人参加の下、キックオフミーティングにおいて、市からため池の管理者へ事前放流への協力を依頼、同年7月6日から8日朝までの48時間雨量で358.5mmの観測史上最大値を観測、9日以降も豪雨が続く見込みであったため、初めて市からため池管理者に事前放流が要請され、地域全体で事前放流を行うことにより、効果的な洪水防止機能が発揮されている。

唐池では、要請を受けた1時間後に当組織の農家と消防団と一緒に事前放流を行い、ため池の貯水量の約1割を減少させたことによって、豪雨時のため池の貯水容量を増加させ洪水防止機能を向上させた。当地では、要請に備え、放流のための体制構築、普段からの見回りを実施、また、放流後も貯水量は確保されていたため、営農にも支障は無かった。

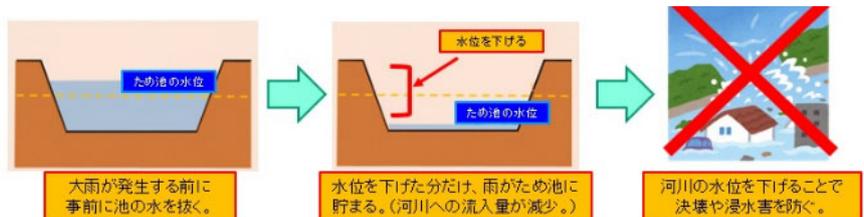
なお、地域の農家以外の住民も多く参加する当組織による水路清掃等の維持活動も、洪水防止機能の発揮に重要な役割を果たしている。【令和2年度作成】



災害未然防止対策キックオフミーティングの状況



地域の状況（青色がため池、紫色が農地）



ため池事前放流の効果のイメージ